



短くなった夏休み

川崎市の小学校はつい最近まで、4月の始業から夏休みまでが1学期、夏休み明けから冬休みまでが2学期、冬休み明けから春休みまでが3学期の3期制でしたが、現在前期、後期の2期制に移行しています。前期と後期の境目に秋休みが1週間設置されたため、その分夏休みが短くなってしまいました。今年の場合、学校行事である自然教室の受入れが8月24日から始まりましたので、子ども会やボーイスカウト等の社会教育団体の受入れ期間がほぼ1週間短くなってしまいました。しかし、社会教育団体の利用数は例年に比べて微減にとどまりました。ということは短期間に沢山の団体に利用していただいたことになり、全体的に非常に過密になった感じがいたします。過密になった分、入り込むのが難しかったのがグループ・家族の方々だったようで、グループ・家族の利用は、昨年より少なくなっています。まだ最終的な統計数字は出ていませんので正確なところは不明ですが、トータルでは昨年より多少多くなっただようです。なお、キャンプサイトの常設テントは昨年まで10張りでしたが、今年は6張りにしました。残念なことに野営をする団体は減少傾向のようです。

所長のひとりごと 19

三 井 一 則

連日、猛暑が続いていた7月の終わりころ、風がそれまでと違って涼しく感じられた朝、自由広場へ下る道のナナカマドの枝先のいく枚かが葉を染め始めていた。実はすでに赤みをおびている。白い花をつけていたころ「この花が紅い実をつけるころ、またハケ岳に来てください」と言って送った学校があったけど、あの子供たちはどうしただろうとふっと思い出した。手折って紹介した木のことを調べただろうか、名前を言わなかったからもう忘れているだろう。

あのころはまた、ヤマユリの開花の最盛期でもある。窓を開けていると、暑さに和らいた風が強い香りを部屋の中まで運んでくる。そのことを教えてあげられなかったが、夏休みの連日にぎわった利用団体の中には、色づき始めたナナカマドの紅い実も満開のヤマユリの匂いにも気づいてくれている子どもたちがいたに違いない。故あって利用した時期が最高の時期であってほしい。天候はままならなくとも、何時の季節でも最良の贈り物は自然の恵み、自然の姿だ。オミナエシが咲き出して、季節の花はもう夏から秋へ衣替えを始めている。

7・8月の事業

●受け入れ事業

7・8月の受け入れ事業は学校団体20、青少年団体61、主催事業3、グループ・家族59でした。これは昨年とほぼ同様の受け入れ実績ですが、総合計では利用者は若干伸びています。

●自然紀行

7月は「ホテルと美術館めぐり」。35名の募集でしたが13名の応募があり、参加者は12名でした。美術館は、欲張って石和のトリックアート美術館、甲府の山梨県立美術館、諏訪のガラスの里、北澤美術館の4館をめぐる。ホテルは、八ヶ岳の里について学習した後、井戸尻考古館近くの水田へ出かけ、ゲンジボタルとハイケボタルを同時に観賞しました。その

後、少年自然の家に戻って、アストロハウスの天体望遠鏡で月面も観賞しました。8月の自然紀行は繁忙期のため計画していません。



●日食観察会

7月22日は日食があり、日本中フイーバーしました。八ヶ岳では7割5分くらいまで欠ける部分日食でした。アストロハウスでは日食めがねを用意し、進行していく日食の様子を逐次解説しながら観賞していただきました。参加者は地

元の富士見高原中学の1年生と家族連れ、合計154名の人に参加しました。しかし、生憎の曇り空で太陽は5分置きくらいにちらちらとしか姿を見せてくれません。でも、参加者は月のように欠けた太陽が見えるたびに歓声を上げて見入っていました。

●ふじみ星空観察会

7月17日に実施しました。地元の方を対象に、アストロハウスを公開して行う事業です。雨天で、残念ながら星を見ることは出来ませんでした。参加者は17名の参加者がありました。参加した人には、7月の星座解説をした後、日食について、日食の起こるわけ、観察の仕方などを説明しました。また、夏には多くの流れ星を見ることができ、流星群と流れ星の燃えカス、流星塵について解説しました。

ハスキーなおふくろ

自然の家では今、秋の花々が咲き乱れています。皆さんは秋の七草をすらすと言えますか？「萩の花 尾花葛花 撫子の花 女郎花また藤袴 朝顔の花」万葉集の山上憶良の歌に読まれている七種の花です。春の七草のように食べるわけではなく、観賞するだけだからかもしれませんが、私はいつもハギ・ススキ・クズ・ナデシコ・・・？となってしまう。そこで簡単に覚える方法を調べてみました。まず五七調「ハギ・キキョウ クズ・フジバカマ・オミナエシ オバナ・ナデシコ」並び替えるだけです。調子よく何度か繰り返せば覚えられそうです。もう一つは頭文字をつなげて「ハギススキキキョウ（一）ナデシコオミナエシフジバカマクズ（ロ）」いかがですか？尾花はススキ、朝顔はキキョウのことです。人に教えると確実に覚えられますよ！

(K)

事業紹介 3

自主事業

ここで自主事業というのは、富士見町開発公社が指定管理受託に当たって、川崎市より実施すべき事業として指定された事業以外に、公社として企画して実施する事業のことです。川崎市八ヶ岳少年自然の家についての理解周知と利用率の向上を図る狙いがあります。現在自主事業としては「ハケ岳ふれあいイベント」、「ふじみ星空観察会」、「ハケ岳自然紀行」、「施設利用説明会」の4本を実施しています。今号では「ハケ岳ふれあいイベント」について紹介します。

この事業は土曜、日曜、祝日に利用されるグループ、家族の方が参加できるプログラムです。午前1回、午後1回、宵に1回開催して

います。宵に実施しているのはアストロハウスでの星空観察です。

午前、午後、1回ずつ開催しているのはクラフトです。内容は、バードコールの製作、小鳥の巣箱の製作、白樺の輪切りチップを使ったクラフト、ドアサインなどにする焼き杉板作りの内1種類を選んで頂くものです。予め申し込んでおいていただければ参加できます。昼間のプログラムは、皆さんハイキングをしたり、自然観察をしたりと、計画を立てて来られますので、その利用はあまり多くは無く、昨年の参加者は50名ほどでした。星空観察については参加者は多く、1500名ほどでした。

ヤマネを保護

8月3日朝、テントサイトで野営をしていたガールスカウトの

隊員が、サイト脇の木の枝につるしたお菓子を入れておいたビニール袋に、何か変な動物が入っていると大騒ぎ。それはなんとヤマネの子どもでした。ヤマネは天然記念物。放って置くわけにはいきま



せん。すぐに清里の「ヤマネ博物館」に連絡を取ったところ、保護してくれるというので運び込みました。直ちに計測、体重8.0g。6月末か7月始めに誕生した元気の良いので、親離れしたてか、親からはぐれたか、どちらかという

ことでした。発見された場所を中心に、半径40～50m以内に巣があったて、親や兄弟がいるだろうという話でした。ただ、8.0gの体重は、まだ親離れしていない可能性のあるかもしれない位軽い体重なので、しばらく飼育して頂くことになりました。十分大きくなり、体重も増えたら、捕獲した場所に放してくれるということでした。

この少年自然の家が開所した頃、宿泊棟の押入れの布団の中で寝込んでいるヤマネがいたという話は聞いたことがありました。しかし、現在はそんな話を聞くことがありませんでしたので、この少年自然の家には、もうヤマネはいないものと思っていたのに、はからずも少年自然の家で希少動物のヤマネが、現在営業していることがわかったのです。

催しもの案内

ハヶ岳ふれあいイベント

土曜日、日曜日、祝日にグループ、家族でご利用いただく方を対象に、次のようなプログラムを用意しております。参加費は無料ですが材料費は必要。参加申し込み等、詳しくはお問い合わせください。

★ネイチャークラフト

小鳥の巣箱作り、バードコール作り、白樺クラフト、焼き板クラフトの中から1つを選びます。ハヶ岳での思い出に、自分で作ったものをお土産にお持ち帰りいただきます。

★星空観察

19時～20時まで、アストロハウスで満天の星空を見ながら折々の星座観察と、大型天体望遠鏡での天体観察をします。惑星、星雲や

星団などを見ることが出来ます。



秋の草花

ハヶ岳自然紀行

少年自然の家に宿泊して、ハヶ岳の自然、地域、文化への理解を深めてもらえるように、毎月開催しています。4月から多摩市民館前発着の貸切バスで送迎しています。

●キノコ狩りと紅葉ハイキング
色づき始めた横谷峡を歩いたり、きのこ狩りやキノコ料理を楽しんで頂きます。

・10月3～4日

●そば打ち体験と御柱祭を知ろう

今年の新そば粉でそば打ち体験をして賞味すると共に、来年実施される7年に1回の諏訪地方の御柱祭について学ぶツアーです。

・11月28～29日

●流れ星とクラフト体験

クリスマス用のキャンドルを作ったり、ふたご座の流星群を観察します。

・12月12日～13日

費用、内容、申し込み方法等、詳細については、ホームページをご覧ください。
なるか、お問い合わせください。



あ と が き

この夏は利用団体のメンバーの中で新型インフルエンザを発症した人がいて、病院への送迎、部屋や布団の消毒、指先の消毒、その後の来所団体への連絡等、一時騒然としましたが、事なきを得、無事乗り切ることが出来ました。今後の拡大の無いことを祈るのみ。

川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境字広原

12067-482

Tel 0266-66-2011

Fax 0266-66-2014

ホームページでも情報をお伝えしています。

<http://www.kawasaki-yatugatake.jp/>

指定管理者 (社) 富士見町開発公社